

**横浜市港南区地区センター
指定管理者選定委員会（第2回委員会）議事録**

開催日時	令和3年8月10日（火） 9時00分から10時10分まで
開催場所	区役所 603 会議室
出席者	藤崎委員長、宮田委員、小川委員、小後摩委員、谷本委員（計5名）
傍聴者	なし
議題	はじめに（横浜市港南台地区センターの指定管理者の選定について） 1 面接審査 2 審議
面接審査 審議	1 面接審査 1 団体あたり、10分間のプレゼンテーション及び15分程度の質疑応答を行った。団体のプレゼンテーションの概要は次のとおり。 <応募団体 株式会社有隣堂> ・地区センターの運営をとおり地域社会に貢献できることにやりがいを感じており、地域と共に発展する地区センターの運営を目指す。 ・地域特性や地域ニーズに答えた情報提供や自主事業を展開し、地域の人と情報が集まる場、交流の場として地域住民の自主活動を支援する。 ・本部が全面的にバックアップし、各部門がそれぞれの役割に基づいてチェックとフォローを行う。 ・図書の貸し出し冊数は市内地区センター第1位の成果を上げており、引き続き、図書の充実と読書環境の整備を図るとともに、図書取次サービスによる利用者増を目指す。 ・自主事業の Web 申し込みや図書 Web 予約の運用により利便性の向上を図る。 ・予約システムでの PR による新規利用者の開拓や、新規自主事業収入、物品販売収入の増により、令和2年度比20%の増収を目指す。 ・新型コロナ対策として、図書の返却ボックスの設置やオンライン事業を実施し、接触を減らす工夫をする。 2 審議 第4期横浜市港南台地区センターの指定管理者を選定するにあたり、第1回選定委員会で定めた評価基準項目に則り評価を行った結果、株式会社有隣堂を指定候補者として選定した。 【委員意見】 ・立地が良く稼働率が高い施設のため、区の事業や地区の事業でも会議室や体育室の予約がなかなか取れないことがあるが、それは公平公正に運営されているということであり、しっかり管理ができています。 ・地域特性やニーズを生かした事業提案があり、地域の課題解決型の自主事業があるのも評価できる。 ・本部の図書販売を生かしたサービス提供や、市立図書館との連携は評価できる。 ・認知症サポーター研修などの研修計画も組織的に企画運営されている。 ・自主事業や図書の Web 予約を推進しているが、Web 弱者への配慮不足を感じた。 ・5年後20%収入増を目標としているが、根拠がない。 ・現在の事業をベースとしているので、実現性の高い提案となっているが、意欲がそれほど感じられず、マンネリ化している可能性がある。 ・支出削減目標を掲げて活動計画を立てる必要があり、成り行き任せの削減目標では放漫経営

	<p>に陥る心配がある。</p> <ul style="list-style-type: none">・財務状況については、令和2年度の収支は悪化しているが、前3期の業績は安定している。 <p>今後のコロナ禍においても、本部のノウハウを生かし、利用者が満足するサービスを提供しつつ、健全な運営を行えるような施策が期待できる。</p>
審議結果	<ul style="list-style-type: none">・株式会社有隣堂を横浜市港南台地区センター指定管理者の指定候補者とする（599点/825点）。
特記事項	特になし